



株主の皆様へ

第72期 中間報告書

2024年4月1日 ～ 2024年9月30日

暮らし・心・環境に。プラスイノベーション。

+++ INNOVATION

NANKAI
NANKAI PLYWOOD

南海プライウッド株式会社

証券コード 7887

〔 経営理念 〕

私たち南海プライウッドは、
独自の発想と経営で革新にチャレンジし、
お客様の求める真の価値を創造し、
ステークホルダーおよび社会との
調和ある安定成長を実現します。

〔 コーポレートステートメント 〕

この理念のもと、企業の社会的責任を追求しています。
安心・安全・快適。品質第一のもののづくりを推進し、
自然と住まいに優しい環境優先型製品の開発を通じ、
住宅文化の発展向上と持続可能な社会を目指すとともに、
法令を遵守した公正な社会創りに貢献するために
社会に対し3つの誓約を実践します。

行動規範 理念実現のための 3つのPROMISE

1 暮らし+INNOVATION

安定持続社会のために企業倫理を守ります。
ステークホルダーの安心の暮らしを守るために
CSR／コンプライアンスを経営の中枢においた
態勢を構築します。

2 心+INNOVATION

お客様の心を満たします。
大切なお客様の笑顔を守り、
信頼を築く態勢を構築します。

3 環境+INNOVATION

あらゆる環境の持続に努めます。
自然・社会・人の環境持続を優先した
態勢を構築します。

ごあいさつ

代表取締役社長

丸山 徹



当中間連結会計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調が継続しました。しかし資源・原材料価格高騰に伴う物価上昇やロシア・ウクライナ情勢並びに中東情勢の混乱による地政学リスク問題長期化の影響に加え、為替や金利変動の影響への懸念等、依然として不透明な状況が継続しました。

住宅関連業界におきましては、引き続き建築資材や物流コストの上昇に伴う住宅価格の高止まりの状態が継続していることや、住宅ローン金利の引き上げ懸念による住宅取得マインド低下の影響により、特に持家や一戸建分譲住宅の着工戸数が前年同期比で大幅に減少する等、市場環境は厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは資材価格、コスト上昇に伴う利益の圧迫に対応するため、為替管理や労働生産性の向上施策、各種経費削減等徹底したコスト管理に取り組みました。また販売面においては、主力である収納製品のラインナップ拡充を通して新築市場におけるシェアの拡大や戸当たり売上高の増加に努めました。また収納製品のニーズが見込まれるリフォーム市場への積極的な提案活動を実施した他、集合住宅市場での販路開拓や、海外市場における事業基盤の確立に向けた各種取組の進捗に注力いたしました。しかしながら、円安相場に起因する原材料価格の上昇や持家及び一戸建分譲住宅の着工戸数減少の影響が想定以上に大きく、当社の主力事業における業績は前年同期に比べ悪化する状況となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は11,722百万円（前年同期比0.3%減）、営業利益は203百万円（前年同期比49.5%減）、経常損失は217百万円（前年同期は経常利益1,007百万円）、親会社株主に帰属する中間純損失は404百万円（前年同期は親会社株主に帰属する中間純利益491百万円）となりました。

今後も株主の皆様のご期待に応えるべく、グループ一丸となって取り組んでまいりますので、皆様のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2024年12月

BRAND NEW PRODUCT



衣類乾燥機や洗濯機が設置できる収納製品をリリース！ 顧客ニーズを実現！話題の衣類乾燥機※「乾太くん」が 設置できる待望のシステム収納「ラクロ」を新開発！

※「乾太くん」は東京ガス株式会社の商標登録です。

**共働き世帯にとって重要なテーマである“時短”と“洗濯家事の効率化”が実現！
衣類乾燥機や洗濯機がランドリールームに設置できるシステム収納「ラクロ」で解決！**

洗濯家事の基本的な流れは「洗濯機を回す→室内で干す・乾かす→アイロンをかける→畳む→収納する」

この流れの中でも特に「干す・乾かす」は生活スタイルが変化しており、従来は2Fバルコニーに干していた洗濯物も、近年共働き家庭が増え、夜に室内干しを行なうようになってきました。また、時短ができたり、衣類がふんわり仕上がる「衣類乾燥機」の使用率が高まっているニーズに応えるため、衣類乾燥機収納「ラクロ」を新開発しリリースいたしました。



衣類乾燥機がしっかり置ける
重量用棚板



排湿管を避けて収納を確保
できるL型棚板（固定）



使い勝手を向上させる豊富なプラスアップパーツ！
左からハンガーパイプ、スライド式カウンター、フレーム引出し



どんなインテリアにも馴染む
カラーラインナップ！

BRAND NEW PRODUCT

PIPE SYSTEM STORAGE

パイプシステム収納 [パイプ単品・ジョイントパーツ]



新開発のパイプを採用! 「パイプシステム収納」をリリース!
パイプシステム収納専用パイプとして強度をアップ!
強度向上で新たな施工方法が実現。拡がる収納プラン!

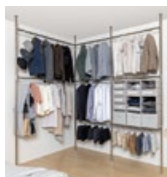
床・天井施工が実現し、さらに拡がった収納プランの可能性!
作図見積サービスを開始し、さらなる顧客ニーズにお応えします!

床と天井に固定する施工が実現。背壁や側壁がなくても、空間中央への設置が可能です。
天井が高い空間にも設置することができ、大容量の収納を実現します。

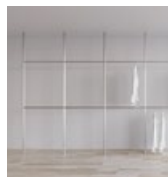
自由度が高いパイプシステム収納。様々なシーンでお使いいただけます。



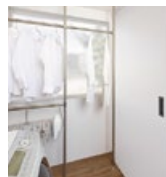
3段パイプで大容量の
収納を実現!



L型プランが実現!



3列以上のプランが
実現!



引き戸や窓に干渉しない
施工が可能!



下部1段パイプの
プランニングが可能!

作図見積依頼書

空間や設置条件に合わせて個別
ごとに図面や見積書を作成!

中間決算ハイライト

連結損益計算書

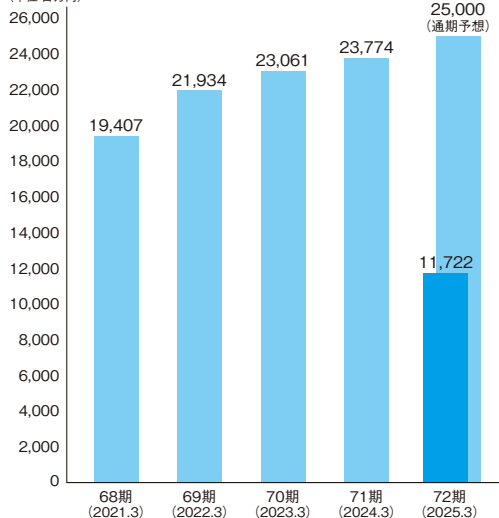
(単位:百万円)

	前中間 連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間 連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
売上高	11,758	11,722
売上原価	8,501	8,532
売上総利益	3,256	3,190
販売費及び一般管理費	2,852	2,986
営業利益	403	203
営業外収益	721	264
営業外費用	117	686
経常利益又は経常損失(△)	1,007	△217
特別利益	6	5
特別損失	13	12
税金等調整前中間純利益又は 税金等調整前中間純損失(△)	999	△225
法人税等	497	174
中間純利益又は中間純損失(△)	502	△399
非支配株主に帰属する中間純利益	10	4
親会社株式に帰属する中間純利益又は 親会社株式に帰属する中間純損失(△)	491	△404

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▽売上高の推移

(単位:百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書

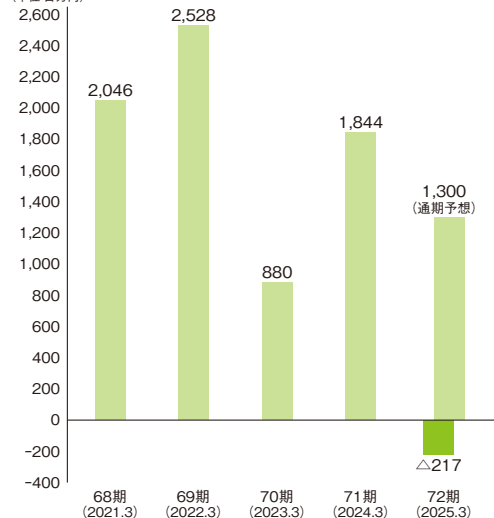
(単位:百万円)

	前中間 連結会計期間 2023年4月1日から 2023年9月30日まで	当中間 連結会計期間 2024年4月1日から 2024年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,009	1,524
投資活動によるキャッシュ・フロー	△866	△1,201
財務活動によるキャッシュ・フロー	△839	△394
現金及び現金同等物に係る換算差額	156	39
現金及び現金同等物の増減額	△540	△32
現金及び現金同等物の期首残高	2,986	3,511
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,446	3,478

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

▽経常利益の推移

(単位:百万円)



当中間期の概況

(木材関連事業)

当セグメントにおける、国内市場については引き続き、住宅市場におけるシェアの拡大に向けて収納製品のラインナップの拡充に積極的に取り組みました。2024年9月には従来に比べより様々なシーンでの設置が可能になった新商品「パイプシステム収納」をリニューアル発売いたしました。また、2024年4月に発売しました衣類乾燥機が設置できるランドリー収納「ラクロ」は発売以降、販売数量が堅調に推移いたしました。加えて、当社ウェブサイトやSNSにおいて収納アイデアに関する情報発信を積極的に行い認知度の向上と更なる需要の掘り起こしに努めました。更に新設住宅着工戸数の減少による市場リスクに対応するためリフォーム市場及び集合住宅市場への販路開拓等、更なる収益力の強化に努めました。

この結果、当セグメントの経営成績は売上高10,587百万円(前年同期比1.2%減)、セグメント利益162百万円(前年同期比52.7%減)となりました。

(電線関連事業)

当セグメントでは、新規顧客の開拓、小口販売の拡充等の営業強化に取り組みました。電材仕入価格の高止まりの状況や業界内の価格競争が継続している中、採算性の管理を徹底しつつ、更なる受注件数の増加を目指して積極的な営業展開に注力いたしました。

この結果、当セグメントの経営成績は売上高888百万円(前年同期比20.2%増)、セグメント利益12百万円(前年同期比93.3%増)となりました。

(一般管工事関連事業)

当セグメントでは、設備投資および設備改修工事に関する受注件数は比較的安定して推移しているものの、比較的小規模物件の受注が中心となったため売上高、利益率ともに前年同期と比較して下回る状況となりました。

この結果、当セグメントの経営成績は売上高246百万円(前年同期比18.7%減)、セグメント利益14百万円(前年同期比63.3%減)となりました。

通期の見通し

(木材関連事業)

新設住宅着工戸数の減少に向けて、これに依存しない新築市場以外での収益獲得を重要課題としております。その中で当社は収納材の強みを活かし「収納リフォーム」分野の確立を目指しており、販路の開拓と合わせてショールームやSNS、動画コンテンツ等を組み合わせた認知度向上の取り組みを実施し、収益拡大に積極的に取り組んで参ります。

当セグメントの業績は、売上高22,622百万円、セグメント利益611百万円になるものと予想しております。

(電線関連事業)

価格競争に対応していくため、営業組織の体制の整備、営業担当者の育成に注力して、新規顧客の獲得を目指して参ります。

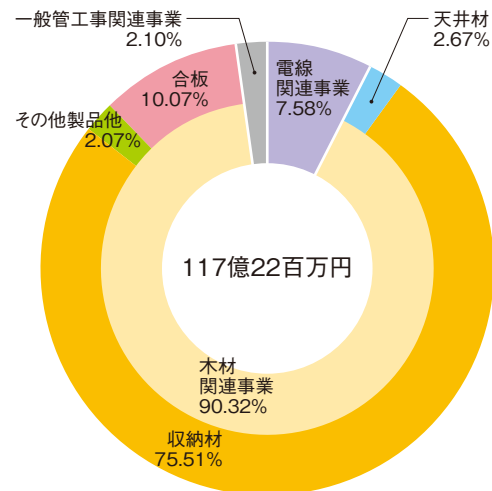
当セグメントの業績は、売上高1,728百万円、セグメント利益27百万円になるものと予想しております。

(一般管工事関連事業)

新規顧客の獲得による販路拡大や新たな技術の取得による工事範囲の拡大、人材育成と技術継承等の人的資本の強化にも取り組み、売上高及び利益の拡大を目指して参ります。

当セグメントの業績は、売上高649百万円、セグメント利益61百万円になるものと予想しております。

▼セグメント別の連結売上高構成(連結)



株式の状況

(2024年9月30日現在)

総数

発行可能株式総数 2,000,000株

発行済株式の総数 1,009,580株

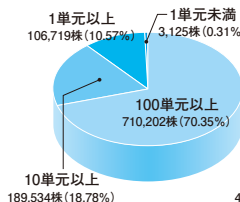
株主数 670名(前年度末比27名減)

大株主(上位10名)

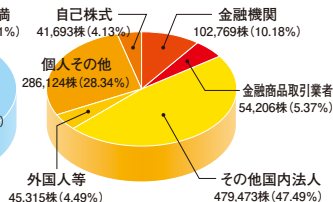
株主名	持株数	持株比率
南海興産株式会社	241,309株	24.93%
公益財団法人南海育英会	155,450	16.06
株式会社百十四銀行	46,779	4.83
丸山 徹	37,376	3.86
小林 茂	30,276	3.12
株式会社SBI証券	28,100	2.90
四国興業株式会社	24,563	2.53
株式会社愛媛銀行	24,310	2.51
株式会社商工組合中央金庫	20,000	2.06
INTERACTIVE BROKERS LLC	17,400	1.79

(注)当社は自己株式41,693株を所有しております。なお、持株比率は当該自己株式を発行済株式の総数から控除して算出しております。

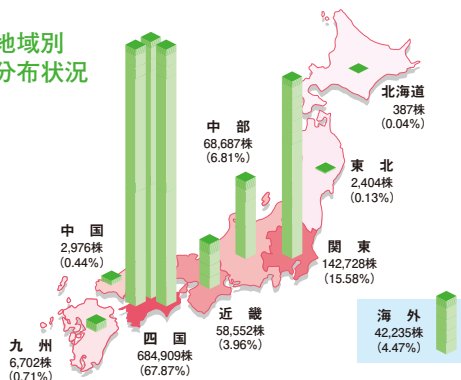
所有株数別分布状況



所有者別分布状況



地域別分布状況



会社概要

(2024年9月30日現在)

商号 南海プライウッド株式会社
本社 〒760-0067 香川県高松市松福町一丁目15番10号
電話 087(825)3615 (人事総務グループ)

インターネットホームページ <https://www.nankaiplywood.co.jp>

設立 昭和30年4月16日
資本金 21億21百万円
従業員数 442名(連結1,833名)
事業内容 建築内装材の製造・販売
事業所 志度工場
〒769-2101 香川県さぬき市志度5388番地
物流センター
〒769-2314 香川県さぬき市造田乙井170番地1
朝日新町資材物流センター
〒760-0064 香川県高松市朝日新町36番52号

役員

(2024年9月30日現在)

代表取締役社長	丸山 徹	執行役員	渡邊 浩平
取締役・上席執行役員	丸山 宏	執行役員	清水 広志
取締役・上席執行役員	藤本 英二	執行役員	松下 直樹
取締役・上席執行役員	大川 正仁	執行役員	西谷 文雄
取締役・上席執行役員	浮田 貴仁	執行役員	野生須 賢司
取締役(社外)	村田 剛	執行役員	丸山 瑛
常勤監査役	玉置 康洋	執行役員	原 朋仁
監査役	岩部 達雄		
監査役	中西 裕司		

連結子会社

(2024年9月30日現在)

木材関連事業 南海港運株式会社
PT.NANKAI INDONESIA
NP ROLPIN SAS
ROLKEM SAS

電線関連事業 ナンリツ株式会社

一般管工事業 南海化工株式会社

株主メモ

- 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月に開催いたします。
- 基準日 定時株主総会の議決権 3月31日
期末配当 3月31日
中間配当 9月30日
※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日
- 公告方法 電子公告により当社ホームページに掲載いたします。
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 上場証券取引所 東京証券取引所 スタンダード市場(証券コード 7887)
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 郵便物送付先／各種お問合せ先
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

お知らせ

- 住所変更、単元未満株式の買取り等のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。
なお、証券会社に口座のない株主様につきましては、当社が特別口座を開設し管理していますので、特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。
- 未払配当金のお支払いについて
株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行株式会社にお申し出ください。